学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	造形演習Ｅ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、主にイラストレーション・アニメーション・漫画の基礎を学ぶ。
現代社会におけるイラスト・アニメ・漫画の役割や在り方について広い視野で考察するとともに、独自の表現を磨き、多様な表現技法を使って表現する。
生成した主題に合わせて、物語やキャラクターを創造し、表現する。
高大連携授業を通じて、イラストレーターやアニメーターなど、美術に関わる職業について学び、自己のキャリア形成について考える。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
デザイン領域におけるイラスト制作の基礎を学び、主題に合った表現技法を使って表現する。
【思考力・判断力・表現力】
生成した主題から、キャラクターを創造し、表現することができる。（キャラクター造形）
制作意図について自分の考えをプレゼンテーションできる力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
高大連携授業を通じて、イラストレーターやアニメーターなどの職業について学ぶ。
現代社会における、イラストレーションやアニメーションの役割や、美術と社会の繋がりについて考え、創造活動に生かすことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・多様な表現を工夫し、画材や用具を選んで表現している。 ・イラストレーションの基礎について理解している。 ・画材や、材料の扱い方について理解している。	・日頃から、自然現象や身の回りの出来事について興味・関心を持ち、考察することができる。 ・考えたことを基に、アイデアを発想し、表現することができる。 ・生成した主題からキャラクターを創造し、表現することができる。 ・制作意図について自分の考えをプレゼンテーションできる力を身につける。	・現代社会における、イラスト、アニメ、漫画の役割、在り方について考え、社会と美術の関わりについて考察できる。 ・創造活動の喜びを味わい、主体的に学習活動に取り組もうとしている。 ・クロッキー・ドローイングを繰り返し、日頃から物を観る力を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ドローイング制作	・ジェスチャードローイング ・クロッキー	a:人体の構造に興味を持ち、よく観察して描いている。 b:人体ポーズの「流れ」や「動き」を捉え、魅力的な線で表現している。 c:人体の美しいラインを見出し、興味を持って積極的に表現しようとしている。他者の作品を鑑賞し、主体的に学ぶ姿勢がみられる。ドローイングで得た発見を、作品制作に取り入れている。	・ドローイング(主に人体構造の理解)	・ドローイング(主に線の表現力)	・鑑賞態度
	高大連携授業	・高大連携授業 イラスト・漫画・アニメ講座	a:イラスト・漫画・アニメの基礎知識や、職業の内容について理解する。 b:実践授業を通して、テクニックの向上を目指し、日ごろの作品制作に生かしている。 c:イラスト・漫画・アニメに関わる職業について実情を知り、自己の将来について考えを深めている。	・作品	・作品	・取り組みの態度

2	キャラクター造形・フィギュア制作	・キャラクターをつくる 四方向から見たキャラクターの顔を描く ・設定資料作成 ・フィギュア制作	a： ・既存の有名なキャラクターについて調べ、その魅力や個性について考察し、学び取ることができる。 ・顔の構造を理解している。 ・フィギュア制作における粘土の扱いについて理解している。 b:俯瞰や煽りなど、あらゆる方向からキャラクターの顔が描ける。 C：個性のある魅力的なキャラクターを作るにはどうすれば良いかを主体的に考え、創造しようとしている。	・作品 （フィギュア）	・作品 （フィギュア）	・ワークシート ・設定資料
3	ストーリーマンガ制作	・漫画制作 ・物語をつくる ・漫画の表紙をつくる ・見開き2ページの漫画制作	a:漫画の描き方、原稿用紙の使い方について理解している。 b:物語の世界観に合った描き方を試行錯誤している。 C：物語を創造し、積極的に作品制作に取り組んでいる。	・作品 （漫画の表紙・見開き）	・作品 （漫画の表紙・見開き）	・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度